

公認心理師大学院科目 標準シラバス案

公益社団法人日本心理学会
公認心理師養成大学教員連絡協議会

- 公認心理師の大学院カリキュラムのうち、心理実践実習を除く9科目について、公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）でシラバス案を作成しました。
- 大学院では、多様な授業形態のもと、公認心理師としての実践力を養成するための教育を展開していくことが望まれます。
- 大項目は、公認心理師カリキュラムで各科目に「含まれる事項」を示します。
中項目は、複数の類似する小項目（キーワード）をまとめたものです。
小項目は、含まれるキーワードの例を示します。
本シラバスは一例にすぎず、各大学院での授業内容を拘束するものではありません。
- 2019年10月に公開しパブリックコメントを募集し、2019年12月10日までに28通のコメントをいただきました。いただいたコメントを検討し、修正を加えました。修正の内容については別紙をご覧ください。

大学院における必要な科目名	大項目：含まれる事項	中項目	小項目
保健医療分野に関する理論と支援の展開	保健医療分野に関わる公認心理師の実践	保健医療分野の基礎	医学と医療
			医療安全（感染症予防の知識を含む）
			内科症候学と内科診断学
			生活習慣病と心身症
			精神保健福祉
			地域保健（生活習慣病の予防と健康教育）
			神経系の構造と機能
			保健医療分野に関わる法規と制度
			医療保険制度と公認心理師が関係する診療報酬
		医療分野での実践	医療現場（含むチーム医療）における公認心理師の役割と主な業務
			予診の取り方
			診療録の書き方
			患者との面接の進め方
			一般身体科を含む医療機関におけるメンタルケア
		精神科・心療内科での実践	精神科症候学、精神科診断学、精神疾患の国際的診断基準（DSM、ICD）
			精神科病院・診療所（クリニック）
			心療内科病院・診療所（クリニック）
			向精神薬療法の基礎知識
			個人への心理支援
			集団療法による心理支援
			精神科・心療内科における心理アセスメント（自殺リスクの評価を含む）

大学院における必要な科目名	大項目：含まれる事項	中項目	小項目
福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉分野に関わる公認心理師の実践	福祉分野の基礎	国際生活機能分類
			発達アセスメント
			福祉分野に関わる法規と制度
		家庭に関する問題や介護者（障害児・者、高齢者を含む）に対する実践	児童虐待問題への理解と支援
			子育て支援対策
			高齢者（認知症を含む）の介護者（家族・介護職）への心理支援
			高齢者虐待問題への理解と支援
			家庭内暴力（DV）の理解と支援
		障害児/障害者に対する実践	発達障害の理解と支援
			早期発達支援・療育
			児童発達支援事業/放課後等デイサービス
			障害者就労支援とジョブコーチ
			家族支援（ペアレント・トレーニング、きょうだいへの支援を含む）
			重度心身障害児の理解と支援
			強度行動障害の理解と支援
		高齢者介護・福祉に対する実践	高齢期の心理的問題の理解と支援
			認知症の理解と支援
			早期診断補助・介入
			非薬物的介入（応用行動分析、回想法、認知活性化療法、認知リハビリテーションなど）
			意思決定支援（財産管理、遺言、アドバンスケアプランニングなど）
			アウトリーチ
教育分野に関する理論と支援の展開	教育分野に関わる公認心理師の実践	教育分野の基礎	教育相談
			生徒指導
			学習支援の基盤
			発達障害と特別支援教育
			インクルーシブ教育
			キャリア教育
			チーム学校
			ユニバーサルデザインと合理的配慮
			学生相談
			学校における倫理的配慮（守秘義務を含む）
			多文化的背景を持つ子どもの心理的理解と支援
			教育分野に関わる関連法規と制度
			学校での実践
		不登校およびいじめ問題の理解と支援	
		スクールカウンセリング	
		心理教育的アセスメント	
		コンサルテーションとコーディネーション	
		学習・発達支援	
		緊急支援	

大学院における必要な科目名	大項目：含まれる事項	中項目	小項目	
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪分野に関わる公認心理師の実践	司法・犯罪分野の基礎	少年司法と非行心理学	
			刑事司法と犯罪心理学	
			リスク・ニーズ・反応性原則	
			グッド・ライブズ・モデル	
			薬物犯罪	
			性的犯罪	
			家事事件	
			触法精神障害者を取り巻く諸問題	
			高齢者犯罪（加齢や認知症に伴う犯罪）	
			司法・犯罪分野に関わる関連法規と制度	
		司法・犯罪分野での実践	犯罪・非行のアセスメント（参与観察を含む）	
			リスクアセスメント	
			精神鑑定と心理鑑定	
			認知面接と司法面接	
			施設内処遇と社会内処遇	
			犯罪に関わる認知・行動変容の理解と支援	
			犯罪予防	
被害者支援				
依存・嗜癖問題の理解と支援	薬物依存離脱			
	ギャンブル依存離脱			
	性犯罪再犯防止			
	リラプス・プリベンション			
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野に関わる公認心理師の実践	産業・労働分野の基礎	創造的で健康な組織（コンプライアンス、ガバナンス、個人情報管理）、ダイバーシティ・マネジメント	
			労働市場把握と人的資源管理（能力開発）	
			モチベーション、リーダーシップ、チームワーク	
			労働安全衛生、安全配慮義務、ワークライフバランス	
			活動成果の価値向上と社会的責任	
			産業・労働分野に関わる関連法規と制度（働き方改革、労災認定と事業者責任、過労死）	
			産業・労働分野での実践	組織（職場）風土の測定、診断、組織文化、組織開発
				職業性ストレスに関する諸理論と職場の対策、ストレスチェック制度とその運用、職場のメンタルヘルスケア、復職支援
				コンピテンシーの評価、開発育成（マニュアルの意義と作成、メンタリング、コーチング）
				採用と面接、心理アセスメントの活用、人事評価、給与報酬、昇進・昇格管理、職務の設計、訓練と人材育成、キャリア支援（キャリアコンサルティング、ジョブカード制度、セルフ・キャリアドック制度）、退職準備支援
		ハラスメント、コンフリクト、自殺防止方策など危機対応		
		多様な労働者、多職種、各種社会資源との連携、EAP、協働促進		
		多様なステークスホルダーとの連携（経営層、労働組合など）		
		ポジティブメンタルヘルス（ワーク・エンゲイジメントなど）		
		仕事外の要因（ワークライフバランス、リカバリー経験）		
		社会・経済・行政の動き（働き方改革、健康経営）		
		新しい働き方（リモートワーク、在宅勤務、サテライトオフィス、コワーキングオフィス、シェアオフィスなど）		

大学院における必要な科目名	大項目：含まれる事項	中項目	小項目
心理的アセスメントに関する理論と実践	(1) 公認心理師の実践における心理的アセスメントの意義	心理的アセスメントの意義と基本姿勢	心理的アセスメントの意義と基本姿勢
		(2) 心理的アセスメントに関する理論と方法	知能検査
	神経心理学的検査		認知症・認知機能障害スクリーニング検査/神経心理学的検査
	生理学的検査		生理心理学的検査
	発達検査		発達検査及び発達障害スクリーニング検査
	パーソナリティ検査		パーソナリティ検査
	アセスメント		国際生活機能分類 操作的診断分類 (DSM、ICD) 構造化面接法 症状評価尺度 生態学的・活動論的アセスメント 行動観察に関する理論と方法
	(3) 心理に関する相談、助言、指導等への(1)及び(2)の応用	心理的アセスメントの実践	アセスメントで得られた情報の包括的理解
			ケースフォーミュレーションの運用
			アウトカムデータの測定と評価
			プロセスデータの測定と評価
			治療効果に関する情報提供
			所見の書き方とフィードバック
心理支援に関する理論と実践	(1) 力動論に基づく心理療法の理論と方法	力動論に基づく心理療法の理論と方法	力動的心理学の理論と方法
			対人関係の発達の理解
			治療構造
			セラピスト・クライアント関係 (転移・逆転移)
	(2) 行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法	行動論・認知論に基づく心理療法の理論と方法	行動療法の理論と方法
			認知療法の理論と方法
			応用行動分析、臨床行動分析の理論と方法
			認知行動療法の理論と方法
			クライアントとの協働関係を築くために必要な基本的態度と方略
	(3) その他の心理療法の理論と方法	その他の心理療法の理論と方法	来談者中心療法の理論と方法
			コミュニティ心理学に基づく心理支援の理論と方法
			ブリーフセラピー、解決志向アプローチの理論と方法
			発達論に基づく心理支援の理論と方法
			その他の心理療法の理論と方法
	(4) 心理に関する相談、助言、指導等への(1)から(3)までの応用	心理支援の実践	力動論に基づく心理療法の応用
			力動論に基づく心理療法の事例検討とスーパービジョン
			行動論・認知論に基づく心理療法の応用
			行動論・認知論に基づく心理療法の事例検討とスーパービジョン
			その他の心理療法の応用
			その他の心理療法の事例検討とスーパービジョン
コンサルテーション、チーム援助の応用			
コンサルテーション、チーム援助の事例検討とスーパービジョン			
(5) 心理に関する支援を要するものの特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整	心理に関する支援を要するものの特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整	特性や状況に配慮したケースフォーミュレーションと介入の選択と調整	
		エビデンス・ベスト・トリートメントの選択	
		マニュアルに沿ったトリートメント・プログラムの実施	
		被援助者によるプログラム評価	
		アドヒアランスの評価	

大学院における必要な科目名	大項目：含まれる事項	中項目	小項目	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	(1) 家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法	家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法	家族のアセスメント	
			家族への支援	
	(2) 地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法	地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法	集団・組織のアセスメント	
			集団・組織への支援	
			地域社会のアセスメント（コミュニティリサーチ、システムレベル、ニーズのアセスメントなど）	
			地域社会への支援（コンサルテーション、サポートネットワーキング、自助グループなど）	
			コミュニティアプローチ	
			多文化支援	
	(3) 心理に関する相談、助言、指導等への（1）及び（2）の応用	家族関係・集団・地域社会における心理支援の実践	家族関係への心理支援の応用	
			集団・組織への心理支援の応用	
地域社会への心理支援の応用				
心の健康教育に関する理論と実践	(1) 心の健康教育に関する理論	心の健康教育に関する基礎	健康教育	
			健康増進	
	(2) 心の健康教育に関する実践	行動変容のための基礎理論	心理教育的支援の実践	行動変容のための基礎理論
				心理教育
		心身の健康への支援	心身の健康への支援	ストレスマネジメント教育
				ソーシャルスキルトレーニング
				問題解決訓練
				禁煙の支援
				アルコール健康問題への支援
				インターネット、ゲーム依存への支援
				その他の依存への支援
				自殺対策への支援
				生活習慣（食・運動・睡眠）の改善の支援
				ハラスメントの予防
				高齢者の孤立・閉じこもりへの支援
				引きこもり対策への支援（アウトリーチを含む）
				心の健康を促進させる自助グループの実際
災害からの回復支援	災害からの回復支援	危機介入（サイコロジカル・ファースト・エイドを含む）		
		コミュニティへのエンパワーメント（ボランティア、NPO、NGOを含む）		

● 作成：公認心理師養成大学教員連絡協議会 大学院カリキュラム検討委員会

熊野宏昭（委員長） 大月友 有光興記 石川利江 伊藤大輔 大橋靖史 坂本真士 島井哲志 福井至 古川洋和 松見淳子 武藤崇 山田富美雄 鈴木伸一